

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」支援		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部署	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		担当課室	循環型社会推進室		室長 大森 恵子
会計区分	一般会計		上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号) 第三十一条…『国際的協調のための措置』		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画第5章『国の取組』第3節『海外との関係における資源循環』、3Rイニシアティブ		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	持続可能な社会と資源管理のあり方を世界レベルで科学的に検討する場として、国際的に重要な位置づけとなっている国連環境計画(UNEP)「持続可能な資源管理に関する国際パネル」(UNEP資源パネル)の事業活動へ参加することにより、世界各地の横断的な課題解決に寄与する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	資源の効率的な利用による経済成長と、経済成長に伴う環境影響の低減について議論している、資源分野における世界の著名な科学者及び専門家による独立したパネルである国連環境計画(UNEP)「持続可能な資源管理に関する国際パネル」(UNEP資源パネル)に対して、参加国として応分の拠出を行う。					
実施状況	国連環境計画(UNEP)に対して拠出。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	0	19	18	16	16
	執行額	0	19	18		
	執行率	0	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	0	19	18		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	UNEP資源パネルにおける我が国からの拠出金の執行状況は、年2回程度開催される運営委員会(環境省からも出席)の決算報告にて、適正に執行されたかの確認を行っている。				
	見直しの余地	UNEP資源パネルの活動について、参加国全体に優れた成果が共有されるよう積極的な協力を行っていく。また、資源パネルの成果について、翻訳をし、我が国の施策や取組に役立てるべく、中央環境審議会、セミナー、環境省HP等の様々な機会やコンテンツで紹介、情報発信をしっかりと実施していく。				
予算・監視・所見率	現状維持 (国際的協調のための支出であり現状維持を認めるが、引き続き適正な執行に努めること。)					
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

環境省  
18百万円

【拠出金】

A. 国連環境計画(UNEP)  
持続可能な資源管理に関する国際パネル  
18百万円

資源分野の著名な科学者及び専門家による「持続可能な資源管理に関する国際パネル」を設立。同パネルにおいて必要な議論が行われるべく、必要な事務局の管理・運営に要する費用の拠出。

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出さ  
 れている者  
 について記載す  
 る。使途と費目  
 の双方で実情  
 が分かるよう  
 に記載)

A. UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	事務局運営・管理、会合開催等経費	18			
計		18	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0